

『里山産業論』

～「食の戦略」が六次産業を超える～

食環境ジャーナリスト、食総合プロデューサーの金丸弘美さんによる、新産業論。「地域のブランディングを成立させ、お金を地元にとらせるのは、補助金や工場ではなく、その地の“食文化”」と断言する。サブタイトルの「食の戦略」とは、食文化を基点とした街づくり。イタリアやフランスでは地域の食材や料理を語れる子どもたちを育て、その子らが、地域の担い手となり、魅力を伝える発信者にもなるという。国内では、島根県の離

島、海士町における若い人の教育、環境に投資する地域づくりを紹介している。

今、農漁業にとって大きな課題、TPPに対しても、「グローバル化においてこそ、ローカルが生きる」と、力強い応援メッセージを送っている。

▷問合せ先

KADOKAWA

☎03 (3238) 8555

